

いわみざわ



IWAMIZAWA

発行所 陸奥市 上流町 自衛隊 隊地会
 岩見沢市 岩見沢 見沼 見沼
 印刷所 北海道 札幌市 北区 北条町 立川 350
 電話 (0126) 45-2721

最北最大の施設科部隊としての 誓いも新たに創立・創隊を祝う

岩見沢駐屯地では、九月十七日、自衛隊協力会岩見沢地区連合会長（会長 笠原吉平）共催のもと、駐屯地創立三十六周年第十二施設群創隊式記念式典、装備品展示、訓練展示、祝賀会、その他各種のアトラクションが行われ、隊員と共に記念行事を終日楽しんだ。

式典は、午前十時に開始され、巡閲、司令の式辞、来賓への感謝状の贈呈と続き、最後に一堂々のパレードで威容を示した。

続いて、他部隊から支援を受けた、七四式戦車、一五五自走榴弾砲、一〇六自走無反動砲、自走浮橋、改良ホーク、短SAM及び自隊装備の自走架柱橋、施設器材等の装備品展示、更に訓練展示によるカーブエリ



の構築ポークの構築、野門橋の構築、レンジャー隊員によるヘリコプターからのリベリング、また、日本で始めてと言われるヘリコプターによるホトの空輸作戦が

行われ多彩な催しに観客に感銘を与えた。

午後からは、祝賀会食で日頃お世話になっていた一般市民との意見交換も和気あいあいのうちに終わった。

また、アトラクションとして行われた、各中隊自慢の名物野外模範売店、美術展一日の出焼き一陶芸実演コーナー、戦車試乗、陸費会主催の花ジープ試乗、ミニ制服着用による記念撮影会等、趣向を凝らした多彩な催しに、訪れた市民も隊員と一緒に楽しんで一日を過ごした。

なかでも、本年で二回目の催しとなった戦車試乗は、順番待ちの長い行列ができる程の人気をよび、遊び疲れた子供達も別れを惜しむほどで、隊員との親近感を醸成するともに、大きな広報効果を挙げた意義ある創立記念行事であった。



感謝状の受賞者（敬称略）

・ 東 香雄（三笠）
 ・ 池田 雄一（北村）
 ・ 田村 稔（岩見沢）
 ・ 山本 鐵男（栗沢）
 ・ 横田 博光（岩見沢）
 ・ 吉井 修一郎（岩見沢）
 ・ 佐藤 清太郎（苦小牧）
 ・ 笑田 むつえ（三笠）
 ・ 橋本 新治（岩見沢）
 （アイウエオ順）

団長訓練検閲 「良好」な成果を収める

第十二施設群は、九月二十六日から二十九日までの三夜四日にわたり上富良野演習場において師団内富良野支隊の攻撃支援に任ずる施設群の行動について第三施設団長（岡崎 悟将補）の訓練検閲を受閲した。

検閲に先立ち寺村群長から「全身全霊を投げ打ち任務を完遂しよう。」と訓示があり、隊員一同いやがうえにも心高まり検閲における健闘を誓い

「ミスあやめ嬢」も激励 群訓練検閲出陣式

出陣式は、ミスあやめによる激励と花束贈呈、並びに岩見沢、三笠、栗沢、月形及び北の五カ市町村自衛隊協力会から慰問品の贈呈が行われ、最後に全員で勝鬨をあげ、士気の高揚を図った。

特に、ミスあやめの三人の美女から「元気な笑顔で帰ってきて下さい。」との激励に



激励文を読むミスあやめ

あった。

検閲状況が開始されるや群は、夜間行進に引続き、上富良野演習場に進出して整齊と集結地を占領、休む間もなく敵警戒部隊駆逐の支援を行った。

敵主陣地に対する攻撃支援は、西本道及び中央道沿いの二方向により行われ、敵の必死の抵抗と幾層にも構築された地雷原等の障害に遭遇したが、合計十四カ所の障害を処理、同時平行的に自走架柱橋による約四十メートルの架橋及びベイル川上流にポイント橋を架設して攻撃機動路を確保し、支隊に対する攻撃支援任務を完了した。

三夜四日にわたり「敵しい状況下」の言葉通り風雨、石と泥に悩まされ、悪戦苦闘の連続であったが群長を核として隊員一人一人が「全身全霊を投げ打って任務を遂行した結果、「概ね優良」な評価を得て無事検閲を終了した。



「素顔の岩見沢」開催

岩見沢駐屯地では、九月十四日から九月十六日の間、西友岩見沢店（ドリームパーク）において創立記念行事の一環として自衛隊スナック写真展「素顔の岩見沢自衛隊PART II」を開催した。



スナック写真展は昨年引続き開催されたもので今年で二回目。市民が日頃見る機会の少ない厳しい訓練の状況とその活力源となつていく隊員の日常生活の一端及び市民と共に生き地域と共に歩む自衛隊として地域の各種行事や文化活動への参加・協力・支援等の様子を隊員が撮影した約百点の

駐屯地司令杯争奪混合ダブルス テニス大会「盛会に終了」

岩見沢駐屯地では、十月八日、駐屯地司令杯争奪混合ダブルス大会を開催した。本大会は、昨年創設されて以来二回目の開催となったが、岩見沢市テニス協会の会長、男女六十名（三十チーム）が参加して、八個ブロックによる予選リーグ及び八個チームによる決勝トーナメント方式により駐屯地司令杯を競った。閉会に先立ち、駐屯地司令から「老いも若きも、闘志を持って怪我をしないように頑張って下さい。」との激励の言葉を述べ、試合開始となった。



ダブルスのペアについては、初めてペアを組みだチームもあったが、初めてのペアとは思えぬコンビネーションにより好プレーを展開し、どのチームも汗まみれになり奮闘の結果、前川夫妻チーム（市内四条西四丁

スチールやカラー写真で紹介するとともに、北部方面隊の重点クラブに指定されている陶芸部が作成した花瓶、一輪さし等大小あわせて三十点の日の出焼きを展示した。

また、今年には、陸上幕僚監部広報室広報班の支援を受け陸上、海上、及び航空自衛隊の装備品のパネル写真合わせで二十五点を展示するとともに、一般市民からもスチール及びカラー写真（十五点）の特別参加を得る等、内容の濃い写真展となった。

本展示会により「素顔の岩見沢自衛隊」が市民に定着し親近感を醸成する等、イメージアップに大きな広報効果を挙げた。

会計実務競技会優勝 第三二七会計隊

九月二十七日、札幌駐屯地体育館に於て、北部方面会計隊以下二十三個会計隊が集い、会計実務処理能力の向上を目的として平成元年度北部方面会計隊会計実務競技会が実施された。

当駐屯地から参加した第三二七会計隊は、一昨年は三位、昨年は二位と逐次実力を向上させてきたが本年は日頃から培った地道な努力の成果を遺憾なく発揮して念願の「優勝」に輝いた。

競技は、九時警備の合図により一斉に開始、幹部判断、会計、給与、旅費、契約問題等を第六状況までの一連の業務について競うもので、有事を想定した問題は通常業務に関連しない点も多く、出場選手

は法規類集片手に四苦八苦、それでも組織力を最大限発揮して高得点をマーク、二位に



目）が駐屯地司令杯の栄冠を得た。

なお、岩見沢駐屯地においては、六月には同じく駐屯地司令杯争奪少年野球大会を実施して、少年野球チームの父兄をはじめ、連盟関係者からも大変に喜ばれているところであり、今回のテニス大会においても参加者はもとより、

第十二施設群持続走競技会 第三三七施設中隊二連覇

第十二施設群では、十一月十日、岩見沢駐屯地及び名寄分置（第三四二施設中隊）の隊員二百五十名が参加して、持続走能力の向上と各中隊の団結の強化を図る目的で岩見沢駐屯地及び孫別演習場の起伏に富んだ六kmのコースを舞台に、平成元年度第十二施設群中隊対抗による持続走競技会を実施した。

競技に先立ち、群長は「幸いにして、晩秋も絶好の天候に恵まれた。各中隊は、中隊の名誉と勝利に闘志を燃やし、中隊の団結を図り選手全員がゴールを目指し頑張ってください。」と訓示。競技は、群長のピストルを合図に各組ごと一斉スタートして開始した。

各中隊の選手は、B-3装・小銃で身をかため、日頃鍛錬した武装走能力を十二分に発揮し、中隊



群#4野営 各種競技会実施

施設偵察優 勝 本部管理中隊



障害の構成 優勝

第三三五施設中隊



優勝はもらった?

障害の処理 優勝

第三三七施設中隊



いぞぞ 付いてこい

通信 優勝

第三三七施設中隊



喜びの面々

随 想

業務隊長 二等陸佐 岡本 晃



PXへ車を着けた時、入口から百メートル程の人の列、思わず「何だろう?」。ここは、アメリカ、フォート・ブリス陸軍基地のカミサリーと呼ばれる売店で、昨年、半月程同基地へお世話になった時、目にした土曜日の光景である。

このカミサリーは、岩見沢市内の大手スーパーの四、五倍の広さはあろうという食物専門(口に入る物はなんでも)の売店であり、並んでいる人

と配給所と言われるもので、軍が軍人及び軍の勤務員を使って運営するため人件費がかからず、中央調達により大量に安く仕入れる上に、国が一歩援助し、おまけに州税(テキサス州の消費税は八パーセント)が免除されるため、日常の買物は勿論、今日の様に一週間分のまとめ買いに列をなす次第である。

この他に、基地内には、メインPX(日本のスーパー)とイランド(車用品、日曜大工) クーターマスター(軍

衣料品)ブックストア(本類)等の大型PXが点在し、カミサリー同様の経営をしているが、IDカード(入店可能な身分証明書)を持たない一般人は、入口のガードマンにシャットアウトされ、入店出来ない。

日本の自衛官は、特別許可証により、米軍人同様に買物をさせてもらっているが、誠にうらやましい国家施策であることを痛感する。

わが駐屯地の直営売店も、米軍並とは言わないまでも、何とかこれに近づきたいものと、市内のスーパーよりも安い価格で提供し、隊員の皆さんに喜んでもらえるよう努力しているこの頃である。

それにしても、あの行列、思い出すなあ。

築 城 優 勝

第三三七施設中隊



測量は正確に

別海こぼれ話

尺 物 三 匹

#四群野営は、訓練検閲、施設戦技競技会及び持続走の練習にと忙しかつた日々... 帰隊前日、僅かな余暇を活用して、つりキチ三平(畠山二曹)を先頭に寺村群長、私と本田三曹の四名で西ワッポウシ川に出発。

川を下ること三百メートル、畠山二曹の「北さん、あのポイントに入れて見る。」指示に従い竿を入れた。二度目に、僅かなあたり、合わせると竿がグーンとした。「これは大きいぞ!」狭い倒木の間を糸が走る。引き込まれないように竿を立て戦うこと十分。三十二、五センチのイワナがあがった。ちなみに、寺村群長は三十一、五センチのイワナ。別のグループの熊谷一尉は三十五センチの大物をつった。

時代を一步リードした 中庭のあるモデル住宅

柏崎建築設計事務所 建築請負 柏崎建設株式会社 代表取締役 柏崎昭朗 会社 岩見沢市11条西1丁目 番 電話代 23 2129 山 木工場 岩見沢市東山 番 電話 24 1725

安心しっかり 愛車もしっかり

車検費用積立プラン

富士火災

担当 松浦直樹 岩見沢支社 Tel 23-5142

●年金と医療保険のバイオニア ●生涯の保障に終身保険(明順)

日々の暮らしに安心を

東邦生命

担当 深沢 隆子 (内327)

夏の水泳は、か 副 群 長 二 等 陸 佐 古 橋 治 夫

私は、群の三科長として三年間、副群長として一年四カ月、岩見沢駐屯地に勤務して



この間に、岩見沢方泳会に入って市民プールへ百六十二

第二十二回道美展 (北海道美術作家協会) 受賞に想う

本部管理 中 隊 准 尉 北 野 一 年



平成元年九月二十五日夜、突然師匠の近藤尚氏より、道美展に出展した貴方の作品三

今年度の協会展賞で一躍脚光を浴びることが出来ました。今回の作品は、早くから準備をしていた道美展用の壺が焼成後の段階で不注意から失敗に終わっており、締切も迫り、今更作陶しても間に合

らしい値打があるが良くわからず実感が伴わないまま、十月十二日に札幌市民ギャラリーに展示手伝いに行つてみる

この作品は、蛇紋釉花入でこの蛇紋釉は十数年前師匠である近藤尚氏が伝統工芸展(東京)に入選された時に掛けた釉で、はからずも師匠と弟子がともに受賞できた頼もしい釉です。蛇紋釉は、日高の山奥で産出される蛇紋石をペンマーで砕き更にポットミルで粉砕し、中のボールの石が半分くらいに減るくらいまですりつぶした釉です。



展示中の作品

苦しみ 第三三六施設中隊 一等陸士 中島 和秀



苦しみによりまた自分新しい目標ができるその目標に向かって人間はま

転入の抱負 第三二四基地通信中隊 成 澤 聡



私は、今年の八月一日付で、真駒内駐屯地から転入してき

地区施設隊時代を振り返って 第三三六施設中隊 三曹 松田 茂雄

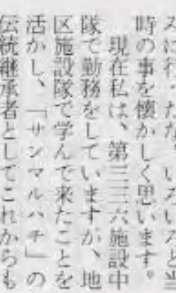


第三施設隊が改編となり早一年六カ月が過ぎました。

野業の二部三部とは程遠いものがありました。

思い出と言文はやはり部外工事で、工事の有名なものと言えは北の嶺スキー場(現在の富良野スキー場)、十勝岳のスキー場までの道路、上富良野日の出山ラベンダー公園、美瑛クライダー飛行場などあげればきりありませんが、多い年で年間六件もの工事があることもありました。

第三二二施設器材中隊 士長 河原 康 史



入隊以来、岩見沢駐屯地にきて二年半が経ちました。実家が新篠津というところで、岩見沢から近距離にあり、岩見沢の街については、ほぼ知っていたので、生活するには大きな変化はありませんでした。

第三施設隊が改編となり早一年六カ月が過ぎました。地区施設隊と言っても若い隊員の中には、初めて耳にする人も多いかも知れませんが、昭和六十三年までは第三施設

近江建設株式会社

特定土木建設許可・一級建築士事務所

本社 岩見沢市4条東17丁目48番地 電話23-3026
支社 三笠市唐松町1丁目374 電話2-3179
営業所 札幌市中央区南2条西5丁目
ロジエ札幌25 806号室 電話011-222-5359
営業所 三笠市観内本沢町 電話2-5403

◀より安く莊厳に御奉仕します▶

霊柩車・バス送迎サービス
(+遺体搬送車あります。)

(株)岩見沢葬儀社
ほんだ花や

互助会々員の方も御利用できます。

▶納棺無料サービス▶年中無休▶24時間営業
岩見沢市4条西10丁目 ☎23-1125

宝 石 創業81年 貴金属
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店

株太田時計眼鏡店

岩見沢市1条西4丁目
☎0126223353・223354

ファミリーコーナー

三三五六施設中隊
宇山二曹婦人

宇山 和代

結婚して四年目！玉の輿にのる夢は破れましたが、現在優しい主人（？）と、どこに出しても恥ずかしい娘と、楽しく毎日を過ごしています。ただ一つ、不安なことといえば転属の事です。

その事は、結婚前から主人に色々な話を聞かされていたのですが、それ程気にせずいました。

ところが、一昨年主人が中隊を変わり、その時初めて転属の事を少し真剣に考えました。

主人は本州の出身で、北海道に来て色々な人と知合い、色々な経験をしてきたせいか、どこに行っても何とかなしようという気持ちを持っていました。が、岩見沢で生まれ育った私は、全く知らない土地で暮らすのはとても不安です。特に、演習などで何日も家にいてもらえない時は、今は

実家がすぐそばなので子供を連れて帰ったりしますが、遠く離れてしまうとそんなことも出来ません。

友達ともなかなか会えず、本当に寂しい想いをしそうです。

でも、自衛隊の中には、そういう人が沢山いるし、友達も自分で作ってあげれば、主人は言います。

そんな主人の言葉をしっかりと受け止め、転属の話がきた時は覚悟を決め、子供と一緒に笑顔で単身赴任の主人を見送りたいと思います。



私と雪
器材中隊 横山二曹婦人
横山 多美恵

北海道へ来て二回目の冬を迎えます。

昨年、雪が積もった時は嬉しくて主人と二人で雪だるまを作りました。

九州とは雪質が違うのでなかなかうまく作れず、少し歪な雪だるまが出来ました。

次第に雪が積もり始めると家の周辺の除雪です。初めの頃は雪が珍しく苦にならないかっただけですが、毎日続くと少し苦になる時もありました。

北海道に雪はつきものです。ここに居る間に、スキーも覚え、雪とも楽しくつき合っているかと思っています。



検閲に参加 三題

群検閲を終えて

第三三五施設中隊

二等陸士 高田 健二

今回の検閲は、私が中隊配属となり何もわからずオドオドしているうちに始まってしまいました。



生まれてこのかた二十四時間寝ずに過ごした事などなかった私にとって今回は初めての経験でした。

その他、教育隊の時に教わった事のない作業や初めて目にする道具や物が多くなりその多さに驚きをおぼえずにはいられませんでした。

また、深夜の偵察では雨のためぬかるんだ地面を「よつんばい」になりながら地雷探知を行いました。

群検閲に参加して
第三三七施設中隊
二等陸士 後藤 兼三

九月十三日、私が中隊に配置になってから、最初の大きな行事が群検閲でした。

新隊員課程を終了し、一カ月も経っていませんので「何もわからないことばかりだけれども、精一杯頑張ろう。ここで苦労して覚えたことが将来がならず自分の身になるのだ。」と心に決め、検閲に臨みました。

三夜四日の連続状況の中で、睡眠不足と寒さとの戦いを繰り返し、待機の時等はつい「うとうと」してしまい、集合の号令で「はっ」と我にかえる状態でしたが、もし、本場の緊急事態の時にはこのような厳しい状況以上のことをしなければいけないと自分に気合いをいれて訓練をしました。

去る、十月三日に行われた陸隊一次試験において我が中隊から七名におよぶ合格者を出しました。



群検閲に参加して
第三三五施設中隊
二等陸士 平野 隆

僕らが後期教育を終了して中隊に配属される間もなく大きな行事があった。

それは、駐屯地創立、群記念行事と群訓練検閲だった。

記念行事はわりとすんなり終わって、群検閲の準備を始め、まず思ったことは、積み込む資材が多いということでした。

やはり、教育隊の時と人の数が多い分、それだけ多いんだらうという事だった。

状況が始まって、上富良野まで三ノ半ダンプで行進して、自分かいる小隊は、まず地雷偵察で、二キロメートル位真の暗な道を黙々と進んで行き「よくこんな暗いのに、早



足で目的地まで行けるな。」と思い、その夜はずっと警戒員として勤務した。

少々寒かったが何とか眠らずに朝近くまで頑張れた。

早朝、まだ暗い時から地雷原に破壊筒を設置、爆破し、戦車部隊を通過させ、その後を前進して行き、七〇式地雷原爆破装置等を積んだりヤカーを引っ張って行って、結構きつかった。

その日の夜は、七〇の設置で暗い中をシェルや鎌などを使った作業をやった動いたせいか寒くはなかつたが逆に眠くなって頭がボーッとして、ほとんど作業がうまくいかずその点先輩は、軽快に作業を進め、やはり慣れもあると思っただけで、それより検閲に対する姿勢と意気込みが全く違うんだなあと考えた。

その後も諸々あって最後に感じた事は、日頃ちゃんとやっていたらばいさという時にどんな事にも対処できる様に自分もやっていたらいいと思っ

課外を利用して
第三三五施設中隊
陸士長 中筋 英夫

去る、十月三日に行われた陸隊一次試験において我が中隊から七名におよぶ合格者を出しました。

群の一次合格者の内半数を占めたわけですが、まぐれとか偶然とかでなく、これは中隊全体の協力があってからで、訓練・部外工事等で忙しいところを課業時間を割いてまで陸隊の勉強時間にあててくれたり筆記試験の教官、伊藤三曹は、自分達が勉強を始めるずっと前から連日遅くまで試験の要点や出題例を考えてくれたり、試験勉強が本格的に始まってきて課業外や消灯後に勉強している時でも理解できない問題や質問に対して丁寧に答えてくれました。

自分達も中隊全員が協力してくる姿を見ていると一人でも多く合格して応えなければならぬという気持ちが湧いてきて目を追うことに真剣に勉強に取り組み、勉強していく内に、新隊員の演習った項目や、中隊配属になり何も分からない頃、先輩に注意された時の項目があつて懐かしい思い出が蘇ってきました。

合格発表の日、中隊長が一人一人と握手して「合格おめでとう。よく頑張った。」と言ってくれた時は、本当に合格して良かったと思いました。

これからは、中隊の力が協力してくれたいと思います。

安心とゆとりのプラン

協栄生命 LLワイド 15 50 100

担当:高橋ひさ子、田村純子 更新型

余裕資金を上手に活かして大型保障

協栄の保険料頭金制度をご利用ください。

定期特約付終身保険

協栄生命保険株式会社

北海道電力林指定・ナショナル電気チェーン店
東芝電材チェーン店・電気工事設計施工
火災報知設備・照明器具・家庭電化製品

千葉電気商会

有限会社

〒068 岩見沢市東山町2番地7-1
電話 (0126) 24-4567 番

自衛隊退職者雇用協議会

岩見沢支部

事務局:岩見沢市商工会議所内
支部長:三谷 栄一
TEL:0126-22-3445

家族紹介

第三五施設中隊
二等陸曹 浦木 実



子供の国は、忙しいんだから座っている場合ではないよ！

栄光をたたえて

四級賞詞

- 三曹藤本 正(車) 9・8
- 三曹塚田 忠義(車) 9・8
- 三曹内藤 利夫(車) 11・8
- 三曹川原 忠信(車) 11・14
- 三曹鈴木 博幸(車) 11・14
- 一尉池田 哲夫(職) 9・26
- 一曹中村 直之(職) 11・1

川柳もどき

・ミスあやめ次回はヒキニカ
・ハイレグで
・晴れ群長に雨中隊長
ともによらずに意地をはり

防衛栄養士協議会に参加

十月二十五日、第十三回防衛栄養協議会が香川県丸亀市で行われ、岩見沢駐屯地業務隊長仁敷敦吉(栄養士)が参加した。

業務隊

栄養士 仁敷敦吉よみ

防衛栄養協議会は、全国各地駐屯地から栄養士が集まり、それぞれのテーマについて研究発表、討議が行われた。岩見沢駐屯地の仁敷栄養士

定年退官

永い間本当にごくろうさまでした

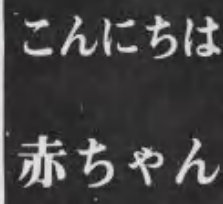
- 松井 務 長女 美和 10・15
- 岩見沢市日の出台二丁目
三曹陸尉 馬淵 金治 9・10 (住所)
- 岩見沢市東町一条六丁目
陸曹長 林 治秋 10・21 (住所)
- 岩見沢市北二条西17丁目7番
三曹陸尉 皆川 貞廣 10・19 (住所)
- 岩見沢市南町五条一丁目
陸曹長 中野 勉 11・15 (住所)

おめでとう

新婚さん

工藤 義浩 妻 恵子 10・10
(充実した日々です。)

長谷 英明 妻 真由美 10・10
(家庭ってイイもんですね)



部外競技会参加状況

- 陸上競技**
 - マラソン等
 - 佐藤 清秋・札幌マラソン
 - 佐藤 克二・札幌マラソン
 - 健康マラソン
 - ふれあいマラソン
 - 春一番マラソン
 - 洞爺湖マラソン
 - 山口和人・市民ロードレース
 - 二位
 - 洞爺湖マラソン
 - 札幌祭りマラソン
 - 日航ホビュラー
 - 日航ホビュラー
 - アカシアロード
 - 有馬 民男・日航ホビュラー
 - 札幌マラソン13位
 - 市民ロードレース
 - 優勝
 - 加茂 弘一・イホクママラソン
 - 大沼 俊・オホクママラソン
 - 伏見 浩範・シベツハーフ
 - 森川 正規・シベツハーフ
 - 新原 義矢・下川タロカン
 - 川堀 清隆・札幌マラソン
 - 鶴田 宏道・札幌マラソン
 - 伏見 浩範・札幌マラソン
 - 上杉 高正・札幌マラソン
 - 江藤 省吾・札幌マラソン
 - 井本 哲吉・札幌マラソン
 - 鬼頭 孝宏・札幌マラソン
 - 三澤 昭光・札幌マラソン
 - 三澤 剛・札幌マラソン
 - 下野 勝成・札幌マラソン
 - 上野 義弘・札幌マラソン
 - 日航マラソン
 - アカシアロード
 - 山本 九士・札幌マラソン
 - 沢田 哲明・札幌マラソン
 - 春日 文人・札幌マラソン
 - 石川 信明・札幌マラソン
 - 澤田 信文・札幌マラソン
 - 石黒 潤司・札幌マラソン
 - 野呂 泰彦・札幌マラソン
 - 斉藤 武彦・札幌マラソン
 - 上野 義弘・札幌マラソン
 - 石井 篤・札幌マラソン
- 内藤 利夫・白樺ロードレース**
 - 三位
 - タイムスロード
 - シュニーパロ湖
 - 二位
 - 北竜マラソン
 - 六位
 - 留萌くま毛
 - 十位
 - 定山溪マラソン
 - 三位
 - 札幌陸上大会
 - 十位
 - 士別ハーフ
 - りんごマラソン
 - 五位
 - 余市 マラソン
 - 二位
 - 苫小牧ロード
 - 北竜道ロード
 - 九位
- 岩見沢市民駅伝優勝**
 - (メンバー)
 - 山本 九士・澤田 儀文
 - 野呂 泰彦・塩崎 伸次
 - 石井 篤・上野 義弘
- 水泳**
 - 矢崎 敏行・市民水泳大会
 - 自由型(50)
 - バタフライ(25)
 - 優勝
- 卓球**
 - 松山 亮三・名寄市民卓球大会
 - 優勝
- 柔道**
 - 佐藤 竜一・三市(岩見沢・三笠・美唄)対抗
 - 四段の部優勝
- 陶芸**
 - 北野 一年・北海道美術展
 - 協会賞 一点
 - 入選 二点
- 居合道**
 - 川崎 忠夫・日本戸山流居合道
 - 全国大会高校の部
 - 優勝
- テニス**
 - 奥野 義郎・恵庭春季大会
 - 準優勝
- デフエンス・アッタクス**
 - #29 岩見沢親睦朝野球
 - #33 高松宮(二部) 岩見沢
 - #26 信金杯
- レイボイス**
 - 岩見沢市民野球
 - #26 信金杯
- レンジャーズ**
 - 岩見沢市民野球
 - #29 岩見沢親睦朝野球(A)
 - #26 信金杯

サンブラザウェディングプラン

華燭

半日から披露宴までのすべてをモットにしてこの価格!

ご両家ご負担 **200,000円**

★会費お1人様6,500円×人数+200,000円(両家ご負担)

豊かな味と憩いの広場

ホテル **サンブラザ**

岩見沢市4条東1丁目 ☎23-7788

中国風パブスナック

里

岩見沢市3条西1丁目 ☎23-2533
☎25-0631

あなたの祝典のステージ

平安閣

岩見沢市5条東2丁目
☎(0126) 23-4581